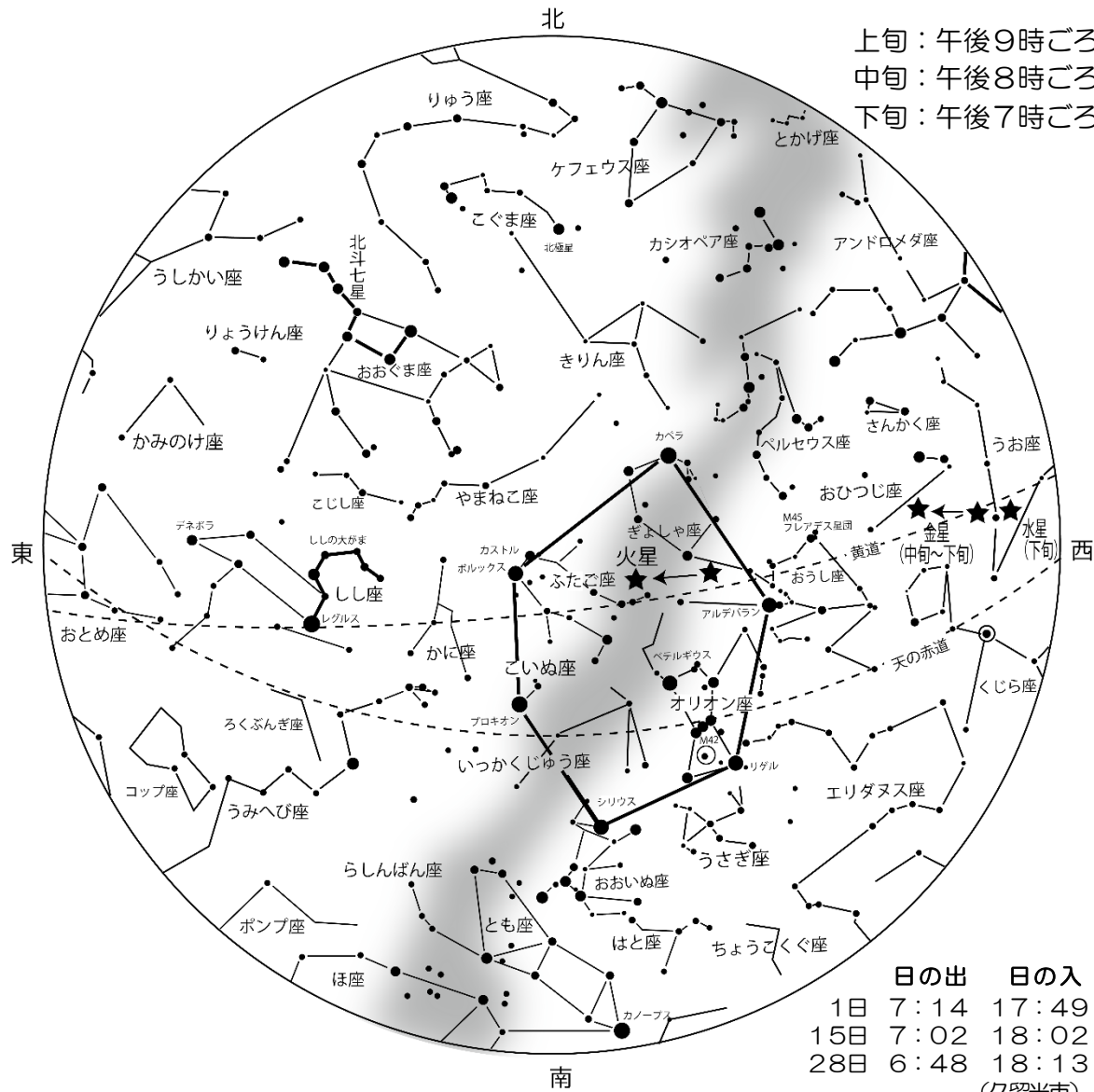


令和5年 3月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★3月の星空案内

今月は、冬の星や星座たちが見ごろを迎え、春の星座たちが見え始めています。

まずは、冬の代表的な星座オリオン座から冬の夜空で目を引く7つの1等星を探していきましょう。オリオン座は3つの星が等間隔に並んでいる“三ツ星”が目印です。その左上で赤っぽく輝く1等星がベテルギウス、右下で青白っぽく輝く1等星がリゲルです。三ツ星を南東（左下）にのばしていくと、全天で最も明るく輝くおおいて座の1等星シリウスが見つかります。そして、ベテルギウスの東側（左側）には、こいて座の1等星プロキオンがあり、プロキオンよりも高い所、頭の真上あたりにはふたご座の1等星ポルックスがあります。さらに、オリオン座の北側には、黄色っぽく輝くぎよしゃ座の1等星カペラがあります。最後に、オリオン座の三ツ星を北西（右上）にのばしていくと見つかるオレンジ色に輝く星がおうし座の1等星アルデバランです。リゲル、シリウス、プロキオン、ポルックス、カペラ、アルデバランの6つの星を結んでできる大きな六角形を『冬のダイヤモンド』と言います。『冬のダイヤモンド』は街中でも比較的見つけやすい星たちですので、ぜひ実際に探してみてください。

そして、東の空には春の星座が見え始めています。南東の空で「？」マークを裏返したような形をした星の並びを、“ししの大がま”といいます。ししの大がまの一番下にある星は1等星のレグルスです。ししの大がまはしし座の一部で、ししの頭から胸にあたります。

まだまだ夜は寒く、外に出て夜空を見上げる機会が少ない方も多いと思いますが、たまには外に出て明るい星たちを見上げるのも楽しいですよ。

【見ごろの惑星】（☆マークは、今月のおすすめです。）

- ☆水星(-1.3等前後):みずがめ座→うお座付近 日の入り後、西の低空で明るく輝く。(下旬)
- ☆金星(-4.0等前後):うお座→おひつじ座付近 日の入り後、西の低空でひときわ明るく輝く。(中旬～下旬)
- ☆火星(0.7等前後):おうし座→ふたご座付近 20時頃、西の空で赤っぽく輝く。
- ☆木星(-2.1等前後):うお座付近 日の入り後、西の低空で明るく輝く。(上旬)
- 土星(0.9等前後):みずがめ座付近 観測に適さない。

注目の天文現象(3月) 三日月と明るい金星の接近を楽しもう

3月は、日の入り後、西の空で金星が一際明るく輝いています。金星は、太陽を中心として、地球より内側を公転している内惑星です。このため、望遠鏡で継続的に観察を行うと、満ち欠けや大きさの変化を楽しむことができます。望遠鏡をお持ちの方は、ぜひ継続的に観察をしてみてください。

この金星が、3月24日(金)に三日月と接近します。この日の薄明終了は19時55分で月や金星は21時21分に沈むため、20時過ぎに見てみると良いでしょう。ただし、この時間は月や金星は西の空、低いところに見えるため、西側が開けた場所で楽しんでください。

この日、福岡県内では月と金星は接近するだけに見えますが九州の南西部から南西諸島にかけてでは、月の暗い輪郭に金星が隠れる金星食を見ることができます。この金星食を日本で見られるのは、11年ぶりになります。ぜひ、この日に九州の南西部に行かれる予定のある方は、貴重な金星食を実際の夜空で楽しんでみてください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
7	土	○ 満月 (21:40)	22	水	● 新月 (02:23)
15	水	◐ 下弦 (11:08)	24	金	金星食 (21:10頃) ※九州の南西部から南西諸島
21	火	春分 (06:24)	29	水	◑ 上弦 (11:32)